平成27年度第3回地域ネットワーク部会議事要旨

日 時： 平成27年10月14日（水） 18:10～19:00

場 所： 琉球大学医学部附属病院 がんセンター

構成員： 13名

出席者： 9名

佐村 博範（琉大病院）、宮里 浩（那覇市立病院）、中上 弘茂（八重山病院）、高江洲 和代（那覇市立病院）、高江洲 アヤ子（那覇市立病院）、島袋 幸代（中部病院）、宮城 みづえ（琉大病院）増田 昌人（琉大病院）、仲本 奈々（琉大病院）

欠席者： 4名 上田 真（中部病院）、照屋 淳（北部医師会病院）、川満 博昭（県立宮古病院）、真鶴 善栄（がん患者会連合会）

陪席者： 4名 玉城 和光（八重山病院）、前原 克章（よりよい地域医療を応援する会）、南 大介（よりよい地域医療を応援する会）、呉屋 葉子（琉大病院）

[報告事項]

1. 平成27年度第2回沖縄県がん診療連携協議会地域ネットワーク部会議事要旨について

佐村部会長より、資料1に基づき、平成27年度第2回沖縄県がん診療連携協議会地域ネットワーク部会議事要旨について報告があり、承認された。

2. がん地域連携クリティカルパスの適用状況について

佐村部会長より、資料2に基づき、平成27年9月30日現在の平成27年度がん地域連携クリティカルパスの適用状況について、3拠点病院の合計は43例で、施設別では、那覇市立22例、琉大13例、中部病院が8例の順になっていること、疾患別では、乳がん19例、大腸がん16例、在宅緩和ケア4例、胃がん3例の順になっていることが報告された。

3. その他

増田委員より、九州がんセンターの藤院長より、日本医療マネジメント学会第4回九州・山口連合大会で「患者の視座からみたがん診療連携クリティカルパス」のパネルディスカッションがあり、九州の実績を報告したいと依頼があり、パスの種類、適用件数、かかりつけ数など情報提供したことが報告された。データが揃ったら、他県の現状とともにフィードバックするとのことだった。

[協議事項]

1. 離島でのがん地域連携クリティカルパスの説明会について

増田委員より、資料3に基づき、離島でのがん地域連携クリティカルパスの説明会について、これまでの経緯の説明があり、八重山病院 玉城副院長と中上委員に、12/4に八重山病院で説明会を開催してもよいかと確認があり、玉城副院長より、承諾の回答があった。

増田委員より、説明会を開催するにあたって、院内や院外へ広報、会場の確保や設営、閉会の挨拶、事務対応の窓口について協力依頼があり、玉城副院長より、承諾の回答があり、閉会の挨拶は病院長に依頼しており、窓口は総務課長に依頼するとのことだった。広報については、ポスターやチラシを院内に掲示するので、早めに送付するよう依頼があった。

2. がん地域連携クリティカルパス適用件数を増やすための方策について

- (1) メインとなる「かかりつけ施設」を増やすことについて、以下の意見があった。
 - ・患者が希望したが協力医療機関でない施設に、訪問し説明してはどうか。
 - ・ダイコー沖縄の営業社員向けに、前立腺がんパスの説明会を予定しており、説明会を受けた営業社員から情報を発信できるよう検討中である。
 - ・連携施設に定期的に情報発信してはどうか。

- (2) 利用しやすいパスにすることや適用範囲を増やすことについて、以下の意見があった。
 - ・将来的には電子カルテに組み込めるよう、3拠点病院の医療情報の職員を集めてノウハウを作り、統一化してはどうか。
 - ・3拠点病院で、何が問題になっているがリストアップし、電カルとの連携も考えながら、今あるパスを使いやすくしてはどうか。
 - ・開業医が使いやすいものにするために、それぞれの施設で開業医からきた苦情をまとめて、改善策を検討してはどうか。
 - ・適用のない疾患のパスについて、適用がない理由を各疾患WGで検討してはどうか。
 - ・パスの運用が病院全体の事業になるよう務めてはどうか。

- (3) 目的を達成できる説明会にすることについて、以下の意見があった。
 - ・説明会の内容は、パスの必要性やメリットを話す。
 - ・実際の運用方法の説明、外来や地域連携室の流れを話してはどうか。

3. その他

12/4の説明会前までに、八重山病院に私のカルテを送付することになった。

4. 次回の開催について

次回の開催日は、平成28年1月13日または1月27日のどちらかで行うことになった。